

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	生物多様性国際イニシアティブ関係経費	事業開始年度	平成20年度			作成責任者	
担当部局	自然環境局	担当課室	生物多様性地球戦略企画室			室長 鳥居敏男	
会計区分	一般会計	上位政策	生物多様性の保全と自然との共生の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計 画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	生物多様性条約COP10主要議題に関する議論において、わが国が主導的役割を果たすため、主要議題について海外専門家招聘した会合の開催及び対応検討や、主要議題や条約運営に関する政府間会合の開催を行うとともに、日本人専門家を生物多様性条約関連会合へ派遣し、国際的な活動を支援することを通じ、生物多様性分野での我が国の国際貢献を推進する。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	①生物多様性条約主要議題について海外専門家招聘した会合の開催及び対応検討を行う。また、日本人専門家を生物多様性条約関連会合へ派遣し、国際的な活動を支援する。 ②COP10議長国として国際的な議論を主導し、条約の実施・運営を着実に進めるため、主要議題や条約運営に関する政府間会合を開催する。また、COP10に向けて、NGOや研究者、民間企業等多様な主体間での対話についても実施する。						
実施状況	平成21年度は、以下の事業を実施した。 生物多様性条約事務局や、国連環境計画などの関係機関と連携しながら、各種国際会議を開催し、本年10月に開催される生物多様性条約COP10において設定される予定のポスト2010年目標やアジア太平洋地域を中心とした生物多様性観測ネットワークの構築、革新的資金メカニズム、自然共生社会に向けた自然資源の持続可能な利用と管理などの検討を行った。 また多様な主体の参画を得た、特にポスト2010年目標とビジネスに関する国際的な対話会議を開催するとともに、専門家を生物多様性関連会合に派遣し、革新的資金メカニズムや生物多様性と気候変動などCOP10の主要議題を中心とした検討を行った。						
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求	
	予算額(補正後)		17	165	62		
	執行額		22	156			
	執行率		129.4	94.5			
	総事業費(執行ベース)		22	156			
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業者とは綿密な連絡を取り、随時必要な調整を行った上で、適正な執行がなされるよう確認に努めている。また、必要に応じ職員が現地出張し、事業進捗や内容の把握を行っている。成果物については報告書を精査し、当該事業の実施結果及び用途の確認を行っている。					
	見直しの余地	生物多様性に関する課題は多岐にわたることから、優先的に取り組むべき課題を絞り込むとともに、関連する課題間の連携を高め、効率的に課題を解決していく必要がある。 このため、課題が関連する国際会合については、可能な限り連続開催を検討し、各課題間の連携を高めることにより、効果的かつ効率的な執行を行う。 また、本年10月に愛知県名古屋市で開催される生物多様性条約COP10は、2010年以降の生物多様性に関する新たな世界目標を設定するなど、今後の条約の方向性を決める重要な会議となる。 このため、COP10の結果を注視し、COP10議長国として、生物多様性条約の実施及び課題を効率的に解決していくために、必要かつ効果的な取組を精査する。					
予算監視の効率							
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額)						
	19年度	20年度	21年度				
	-	0	0				
	平成21年度補正予算による事業分(98百万円)については事業目的を達成したため、21年度限りで終了となった。						

生物多様性総合国際イニシアティブ推進調査費

環境省
121百万円

生物多様性条約COP10に向け、国際的なリーダーシップを発揮するため、専門家派遣や国際会議を開催し、COP10における課題を検討する。

【少額随意契約】

自然環境研究センター
0.9百万円

生物多様性条約第2回生物多様性と気候変動アドホック専門家会合に専門家を派遣。

【企画競争】

A. 自然環境研究センター
22百万円

主として生物多様性条約事務局との共催によりにポスト2010年目標に関するアジア地域ワークショップを開催。

【少額随意契約】

自然環境研究センター
0.9百万円

革新的資金メカニズムに関する検討を実施。

【一般競争】

B. (株)コングレ
5百万円

アジア太平洋地域における生物多様性観測のネットワーク化のための国際ワークショップを開催した。

【企画競争】

C. (株)サイマルインターナショナル
43百万円

地球規模生物多様性モニタリングを推進するとともに、COP10に向けた検討をすすめるため、国際会議を開催した。

【総合評価】

D. (株)日本コンベンションサービス
49百万円

自然共生社会の実現を目指し、自然資源の持続可能な管理・利用のための取組に関する検討を行うための国際会議を開催した。

【再委託】

E. 国連大学高等研究所
15百万円

国際会議を開催するにあたっての内容面の検討を行うとともに、会議成果のとりまとめを行った。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位:百万円)

生物多様性国際対話推進費

環境省
35百万円

G8神戸環境大臣会合で
表明した国際対話を多
様な主体の参画を得て
開催し民間参画を推進

【企画競争】

F. (株)三菱総合研究所
35百万円

G8神戸環境大臣会合で表
明した国際対話を平成21年
10月に開催し、多様な主体
の参画を得てポスト2010年
目標と生物多様性とビジネ
スに関する検討を行った。

【再委託】

G. 国際自然保護連合
5百万円

国際対話会合の準備・運
営補助を実施。

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

A. (財)自然環境研究センター			E. 国連大学高等研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	生物多様性総合国際イニシアティブ推進調査費	22	雑役務費	国際会合運営補助、テクニカルシリーズ作成支援費	15
計		22	計		15
B. (株)コングレ			F. (株)三菱総合研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	生物多様性国際ワークショップ開催費	5	雑役務費	生物多様性国際対話推進調査費	30
			外部委託費	国際対話会合準備・運営費	5
計		5	計		35
C. (株)サイマルインターナショナル			G. 国際自然保護連合		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	科学的基盤の強化及び持続的利用等に関する国際会議開催費	43	雑役務費	国際対話会合準備・運営費	5
計		43	計		5
D. (株)日本コンベンションサービス			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	科学的基盤の強化及び持続的利用等に関する国際会議開催費	34			
外部委託費	国際会合運営補助、テクニカルシリーズ作成支援費	15			
計		49	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)